

しゃきよう

おいそ 新年号

しゃきよう
社協とは社会福祉協議会の略です

No.102 2011 Jan

社会福祉 法人 大磯町社会福祉協議会

〒255-0003
大磯町大磯1352番地の1
大磯町立福祉センターさざれ石内
電話 0463-61-9390
FAX 0463-61-7614

在宅介護者のリフレッシュ交流会

リフレッシュ交流会の詳細は4ページで紹介します。



楽しめました鎌倉



小町通り散策



新年あけましておめでとうござい
ます。
輝かしい新春をお迎えのこととお
慶び申し上げます。
地域では、高齢者から子どもたち
まで幅広い人との支え合いの活動が
繰り広げられております。
大磯町社会福祉協議会は、誰もが
身近な地域で安心して暮らせる福祉
社会の実現を理念に掲げ、「地域で
支える」仕組みづくりにむけて、あ
たたかい笑顔のある福祉のまちづく
りを目指してまいりたいと思います。
役員一同、本年も一層努力して
まいりますので、皆様のご支援ご協
力を賜りますようお願い申し
上げます。



あたたかい笑顔の福祉

大磯町社会福祉協議会

会長 児玉 佐安子

「第21回大磯町社会福祉大会」が開催されました

福祉活動功労者の方々



当日は、台風接近に伴い、プログラム、開催時間を変更させていただきました。ご来場いただいた皆さまには大変ご迷惑をおかけしましたことをお詫び申し上げます。

大磯町社会福祉協議会では、10月30日（土）、第21回大磯町社会福祉大会を開催しました。式典では福祉功労者の表彰や大磯町福祉作文コンクールの受賞者の表彰が行われました。当日は台風のためアトラクションが中止になるなど、開催時間を短縮した大会となりましたが、悪天候にもかかわらず、たくさんの方にご来場いただき、福祉作品の展示や出店も大変にぎわいました。

福祉活動功労者の表彰と感謝

12名の方々の表彰、並びに1名、2団体への感謝状贈呈を行いました。

<表彰>

・ 永年にわたり社会福祉活動の発展に寄与		
大澤 武久	熊澤 海樹	中村 高子
鈴木 房子		
・ 永年にわたりボランティア活動を通じて社会福祉の発展に寄与		
山田 陽子	小島八重子	近藤 京子
田邊 桂子	柏崎 哲子	渡辺 享子
梅田 容子	鈴木紀代子	

<感謝>

（敬称略 順不同）

・ 福祉資金として多額の金員を寄付
小島 寛
・ 福祉活動に貢献
株式会社シマノ （第26回ジャパンカップ投げ釣り選手権セミファイナル東日本大会にて大磯町社会福祉協議会に白キスを寄贈いただきました）
・ ボランティア活動を通じて社会福祉の発展に寄与
神奈川県立二宮高等学校水泳部 （毎年夏休み期間中に大磯学童保育会のために水泳指導のボランティア活動をされています）

福祉作文コンクール入選者

町内の小中学生31人が応募。9人が入選に輝きました。

<小学生の部>

（敬称略）

賞および作品名	氏 名	学校名
大磯町社会福祉協議会会長賞 わたしのおじいちゃん	佐藤 瑠菜	大磯小学校
神奈川県共同募金大磯町支会長賞 ろう人かいご	齋川 楓恋	国府小学校
佳作 パパのこっせつ	柳田 珠花	大磯小学校
佳作 福祉体験をして	唐澤 杏里	大磯小学校

<中学生の部>

賞および作品名	氏 名	学校名
大磯町社会福祉協議会会長賞 地域福祉に「ご近所付き合い」パワーを	渡邊 優一	大磯中学校
神奈川県共同募金大磯町支会長賞 福祉の意味	石井 陽菜	国府中学校
佳作 福祉は、あなたの意識改革！！	松浦 由季	大磯中学校
佳作 国際交流委員会の活動を通して	今井 頌大	国府中学校
佳作 キラキラとした職業～生活支援員	林 美咲	国府中学校

大磯町社会福祉協議会会長賞を受賞



渡邊優一さん



佐藤瑠菜さん



入選した児童・生徒

作文コンクール大磯町社会福祉協議会長賞受賞作品紹介

わたしのおじいちゃん

大磯小学校 三年 佐藤 瑠菜

おじいちゃんは、わたしが2才のころ病気になるってしまいました。その病気の名前は、『のうこうそく』と言う病気でおじいちゃんは、もうなおりません。のうこうそくという病気が、人によってですが歩くことができなかったりお話をすることができなかったりします。おじいちゃんはその両方をうしなっけしまい、車いすでの生活や人と話すときはひつだんでお話します。いまおじいちゃんがいる場所は、かいごつきろう人ホームです。おじいちゃんの楽しみは、子どものころとくいだった絵を書くことです。うまれそだったところの風けいを書いています。い前、その中の一まいが病いの本ののったこともあります。わたしは、その絵を見て「この山の絵をかいでプレゼントしてくれろ？」と、言う「いいよ。」と、いつもやさしく手て相図をしてくれます。ほかに、さん歩に行つて日なたぼつこをするのが大すきです。おじいちゃんが病気になる前もわたしをベビーカーにのせてよくさん歩へつれて行つてくれたと母が話してくれました。今はもう、話したり歩いたり着がえたりもできないからかいごせつの人手つだつてもらつていて大へんだと思います。かいごせつの人、おじいちゃんだけではなく、ちがうお年よりの人のおせ話もしてあげてます。わたしはおじいちゃんとかいごせつの人のおせ話しかたを見てかいごせつの人、やさしいんだなと、思いました。

わたしは、おじいちゃんやほかのお年よりがこまつていたら、なにができるかな？と考えてみました。わたしは今できることは、お話をしてあげたり、車いすをおしてあげたりぐらいしか思いつかないけど、もつと時間をかけて考えてみたいと思いました。

地域福祉に『近所付合い』パワーを

大磯中学校 三年 渡邊 優一

最近、全国で100歳以上のお年寄の所在が次々と不明になっていいるというニュースを毎日のように耳にします。ニュースの報道では、役所の確認のずさんさが指摘されていることが多いです。しかし、僕は一番の原因は近隣住民同士の交流が少ないことなのではないかと思ひます。確かに、役所がしっかりと確認作業を行うことも大切だと思ひます。しかし、役所の確認することのできる範囲には限界があるのではないでしようか。だからこそ、近隣住民同士、特にお年寄との交流を深めることが大切なのだと思います。以前、テレビのニュース番組で、ある山村についての特集を見たことがあります。お年寄の多いその地域では、毎日住民が交代制でお年寄の人の住んでいる家を回つて、健康を確認しているそうです。僕自身を省みてみると、近所に住んでいるにもかかわらず顔がよく分からない人もいるくらい、近所の人との関わりが少ないです。だから、この取り組みを見たときに、僕は「面倒な事をしているな」と思ひました。しかし、よく考えてみると、このような取り組み

はお年寄の所在不明を無くすためには大切なものではないかと思ひます。また、別の報道によると、お年寄の割合の多い山村部では、所在不明のお年寄が少ないのに対し、都市部の方が山村部に比べて所在不明のお年寄が多いと言われている。それは、都市部に比べて山村部の方が地域の中での人々の交流が盛んだからなのではないかと思ひます。だから、地域の中での交流を積極的に行うことが大切なのだと思います。

僕は、小学生の頃に子供会で毎年地域のお年寄の人達とのふれあい活動として、昼食会や餅つきなどを行っていました。その時に、お年寄の人達と沢山の話をしました。お年寄の人達と話しているとき、お年寄の人がとても楽しそうに話してくれました。その話を聞いていた僕自身も、自分の知らないような話を沢山してもらえて、とても楽しい気持ちになりました。なので、近所の人が会いに来てくれれば、お年寄の人はそれが楽しみになったり、心の安らぎにつながつたりし、会いに行つた人もお年寄の人と会話をすることで新たな発見ができるのではないかと思ひます。だから、お年寄の人達との交流は、お年寄の人だけでなく自分自身も楽しい気持ちになり、地域全体の雰囲気をも明るくすることにつながるのではないかと思ひます。

また、ある地域では、新聞配達の業者が新聞を配達しながら、新聞がポストに何日も溜まつていないか、夜中なのにかに電気がついていないかななどの確認をしているそうです。このように、企業が見守り活動などの取り組みを積極的にを行い、社会全体の福祉活動を活

発にしていけることも大切なのだと思ひます。

しかし、これまでに挙げた取り組みは、都市部ではなかなか行われていません。僕も、お年寄の人達とかかわるような福祉活動に参加する時間や機会がなく、「福祉」というものについて考えることがあつても実際に行動することができませんでした。僕以外にも、このような人が多いのだと思ひます。特に都市部は、様々な地域から移り住んだ人が多く、住民同士の人間関係が希薄になりがちです。だから、昔はごく普通だった、いわゆる「近所付合い」が大切なのではないでしようか。しかし、最近の都市部を中心に、「近所付合い」による人間関係の煩しさばかりに目がいってしまいがちになり、住民同士の人間関係が希薄になつており、そこにお年寄の所在不明や孤独死などの一因があるのではないかと思ひます。そんな世の中だからこそ、昔ながらの「近所付合い」というものの大切さについて考え直す時期なのではないでしようか。それに、地域住民同士の人間関係が深まり、人々の生活が豊かになるのではないかと思ひます。僕は、「福祉」というものは堅苦しく難しいものではなく、人が楽しく豊かな生活を送ることだと思ひます。そのような生活を人々が送れば、お年寄の所在不明や孤独死が自然と減るのではないかと思ひます。「近所付合い」は古臭いものだと思う人もいるかもしれませんが、このような昔ながらの習慣こそが、地域社会を豊かにできるのではないでしようか。

各地域福祉推進委員会の活動

紹介します①

社協では、各地域福祉推進委員会の活動に、皆様からいただ社協会費の一部を助成しています。今回から、各地域福祉推進委員会の活動をシリーズにわたり紹介させていただきます。なお、原稿は、各地区から提出いただいたものを掲載しております。

高麗地区

これらの活動を通じて、高麗地区に住む人々の交流とふれあいを図っていきます。

高麗地域福祉推進委員会では、高麗地区に暮らすお一人暮らしの高齢者や、ご自宅で療養中の高齢者の訪問活動を中心に行っています。

また、子どもと高齢者の交流の場としての合同での神社掃除や、高齢者どうしのふれあいの機会を深める「お話し会」などを企画実施しています。



国府新宿地区



敬老昼食会の開催

国府新宿地域福祉推進委員会では、地区に住む高齢者を対象に、老人福祉センター「さざんか荘」で敬老昼食会を開催しています。昼食会を通じて、老人会と地区ボランティアなどでふれあいと交流の機会を深めています。

写真は、今年度行われた敬老会の様子です。沖縄民謡やフラダンス、地区ボランティアによるダンスの披露、また出席した皆さんにカラオケで自慢の歌を披露していただくなど、大変盛り上がりしました。

ホームページ開設のお知らせ



このたび大磯町社協のホームページを開設いたしました。

町内各地区の福祉活動や本会の福祉サービスについて紹介しています。

下記のアドレスを入力してご覧ください。

<http://www.oiso-shakyo.jp/sp-zone/>



表紙でご覧いただいた写真は、11月17日（水）に行われたリフレッシュ交流会の様子です。日頃、在宅で介護をされている家族の方々を対象に、参加者20名で、鎌倉大仏・小町通り・江ノ島水族館に行ってきました。日頃の生活からほんの少し離れ、ここからだのりフレッシュができたのではないのでしょうか。参加者の皆さんの笑顔が印象的でした。（リフレッシュ交流会は、町からの受託事業（家族介護者交流事業）として、大磯町社会福祉協議会の平成22年度からの新規事業です。）

未来に 広げよう 育てよう 福祉の芽

大磯中学校

総合学習の様子

疑似体験セットを装着 ➡ 高齢者の体験をとおして

皆さんは疑似体験セットを装着したことがありますか。装着することで今の自分が年をとったらこんな感じになるという体験です。年をとったり、障がいなどで体が動きにくくなると、こんなところに不便を感じる。

「じゃあ今の私たちにできることは何だろう…？」と考えるきっかけになればうれしいです。

アイマスクをつけて
いざ歩行体験



視界が狭くて
ぼやけるから、
字がよく見え
ないよ！

- ・ まっ暗でまっすぐ歩けない、怖かったです。
- ・ 音の大切さが分かった。
- ・ お年寄りとおふれあって、もっと話をききたいです！
- ・ 実際に、手助けをしてみたいです！



白内障体験
手紙を読むって
どんな感じ？

発見できた！
いつも以上に
表情に変化を
つけることが
大切です。

協力：
手話サークル
磯の会

手話のたのしさを体験



乗ってみて分かったことは、声をかけてもらえると、だいぶ怖さがなくなることです。さらに、安心して乗れるような車椅子の押し方を知りたいです。

点字の絵本づくりに チャレンジ

クラス全員で一冊の点字絵本を完成しました。この本を、誰かに読んでもらえるのはすごくうれしいです。



協力：
点字サークルきつつき

介助する人 される人の気持ち



協力：身障介助ボランティア

共同募金のお礼

共同募金運動にたくさんのご協力をいただきありがとうございます。ありがとうございました。

詳しくは次号でお知らせいたします。

赤い羽根募金

いただいた募金は、県内の民間社会福祉施設・福祉団体・障害者作業所・社会福祉協議会などで役立てられます。

年末たすけあい募金

皆様からいただいたあたたかい募金は、町内で生活に苦慮している母子父子世帯や、高齢者や障がい者の方を介護している介護者等に配分されます。また、町内の障害者地域作業所や大磯町社会福祉協議会が行う低所得世帯の支援等にも配分されます。

ケアセンターさざれ石
協力員募集

(若干名)



場所 町立福祉センターさざれ石

日時 週1日（月曜日から金曜日）

①午前9時から午後4時（変更有）

②午前9時から午後1時（変更有）

協力員として1時間500円

協力内容 デイサービス利用者のお手伝い

①厨房担当：昼食作り、おやつ作り等

②デイルーム担当

(1)利用者とのお話し

(2)お茶入れ、配膳

(3)入浴後のドライヤーかけ等



臨時職員募集

受付期間 平成23年1月11日（火）～ 1月31日（月）

午前8時30分～午後5時15分

提出先 大磯町社会福祉協議会事務局

（町立福祉センターさざれ石1階）

採用予定期間 平成23年4月1日～24年3月31日

（試用期間あり）

職種 事務 その他社協関連業務

提出書類 ①市販の履歴書（写真貼付）1通

②平成23年3月に卒業予定の方は、最終学校卒業見込証明書1通・募集受付期間終了後、面接日時等を連絡します。

募集人員 若干名

給与 規程に基づく

お問い合わせ 大磯町社会福祉協議会 ☎0463-61-9390

ありがとう

7月11日から11月30日までに次の方々から大磯町社会福祉協議会にご寄付をいただきました。福祉活動のために大切に使用させていただきます。（敬称略・順不同）

【寄付金】

映画「いのちの山河」上映実行委員会 横溝まつり募金箱 大磯あじさいクラブ えぶろんの会 ボランティアおりづる のぞみ会 ふれあいサロン 山王町商店会 中南信用金庫本店営業部 JOYFUL 大磯町農業経営士会 石坂卷子 新宅文雄 宮代喜久枝

匿名 2件

合計 16件

総額 205,917円

【寄付物品】

マックスバリュ東海株式会社（車いす1台） 飯田喜久江（尿とりパット、アイソトニックゼリー） 小澤玲子（衣類） 香取篤子（囲碁セット2台） 岡田伸子（シルバーカー・エアキック）

匿名 2件

匿名 2件

（衣類、梅干）



「賛助会員追加報告」

左記のとおり追加にて加入いただきましたので報告させていただきます。

7月29日 相湘建設

100,000円（20口）

7月30日 三引屋

20,000円（4口）

11月25日 大磯プリンスホテル

5,000円（1口）

お詫びと訂正

前回の平成22年度加入状況報告に誤りがありましたので、訂正させていただきます。

社協会費合計

誤 4,265,700円

正 ← 4,337,700円

編集後記

新年号はいかがでしたでしょうか？今回は様々な場面でのたくさんの方々の笑顔を掲載させていただきました。

本紙を読んでいただいた皆さまにも笑顔をお届けできるように紙面づくりをめざしていきたいと思

います。本年もどうぞよろしくお願